

児童発達支援評価表【保護者用】

公表：2022年1月28日 保護者数：100 回収数：43 割合43%

◎この「保護者からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行って頂き、その結果を集計したものです。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見等	ご意見に対する回答
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	16	1	3		※現在、移転に向けた準備をしております。移転後は、十分な療育室及び外遊びのスペースが確保できる予定です。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	14	0	5	・専門の先生の数が足りていないように思う。 ・専門家が少ない。多様な特性を持つ子にもっと多様な専門家との関わりが欲しい。）	※児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準以上の人員配置を行い、保育士、言語聴覚士、公認心理師など児童分野での経験と専門性の備えたスタッフを配置しています。しかしながら、個別療育について十分な時間が提供できていないのが現状です。また、個々に応じた支援が提供できるよう環境の整備に励みます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 ¹ になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	15	3	3		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	17	3	0	・玄関の履き替え部分をもう少ししっかり分離して欲しい	※毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけています。冬場は加湿器を設置しています。感染症対策のため、教材や床などは次亜塩素酸水での消毒を行っています。 玄関については、分かりやすいスペースを確保できるよう改善いたします。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画 ² が作成されているか	31	7	0	5	・計画作成日から、かなり時間がたってから手元にくる。言語、作業、心理それぞれの先生が計画を立てるので、仕方がないのかもしれませんが…。 ・支援内容、計画の話をする前にサインをする様、言われたことがあり、説明前にサインしませんでしたと言ったところ、今から説明するのと、先にサインを求められた。	※個別療育指導者の計画及び保護者の方のセルフプラン、かつガイドラインに沿った内容で作成させていただいております。支援期間に沿った計画提供ができるよう改善いたします。また、保護者の方へわかりやすい説明を行うよう努めます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28	6	0	9		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	6	0	5		
	⑧ 活動プログラム ³ が固定化しないよう工夫されているか	28	7	1	7		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	26	4	8	5	・つぼみ園での交流はないです。 ・本人が行っている幼稚園等で交流があるので、つぼみ園の支援の中ではこの機会はなくとも良いと思います。	※現在、交流活動の実施に向けた情報収集や視察を検討しております。今後、実現に向けて努力してまいります。
⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37	4	1	1	・発達検査の詳細な結果を作成してもらう際、申請する書類があることを教えてもらえなかったことがある。	※契約時に説明をするなど、情報提供できる機会を利用者様すべてに伝えられるよう改善いたします。	
⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	37	3	1	2			
⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ⁴ 等）が行われているか	17	5	3	18		※現在、つぼみ園において「ペアレントトレーニング」は行われておりませんが、令和4年度の実施に向け準備を行ってまいります。	

保護者への説明等	⑬	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達 の状況、課題について共通理解 ができているか	31	8	1	3		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談 や、育児に関する助言等の支援 が行われているか	29	9	2	3		
	⑮	親の会の活動の支援や、保護者 会等の開催等により保護者同士 の連携が支援されているか	10	7	10	16	・コロナ禍で開催が難しい	※現在、集団療育利用の方のみ親の会がありますが、 ※現在は、利用している保護者同士の交流がも てるよう、親の会の内容について検討してい きたいと考えております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申 入れについて、対応の体制が整 備されているとともに、子ども や保護者に周知・説明され、相 談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されているか	28	6	1	8		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮がなさ れているか	30	8	0	5		
	⑱	定期的に会報やホームページ等 で、活動概要や行事予定、連絡 体制等の情報や業務に関する自 己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	17	4	4	18		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意さ れているか	32	4	0	7		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マ ニュアル、感染症対応マニユ アル等を策定し、保護者に周知・ 説明されているか。また、発生 を想定した訓練が実施されてい るか	21	5	6	11		※各種マニュアルの周知・説明について努めま す。 ※現在、集団療育利用者の方のみの訓練となっ ていましたので、全員への訓練実施が課題で す。今後は、訓練の在り方について検討し、 保護者の方へ周知するよう努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出、その他必要な訓 練が行われているか	20	5	4	14	・訓練の時はタイミングが合わず、訓練した ことはありません。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしてい るか	32	5	0	6	・療育なので、楽しみにするという感じでは ない	※今後も子どもの特性を理解し、子どもたちが 安心して楽しく通える事業所を職員一同で目 指していきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	27	14	2	0	・活動内容に多様性が欲しい。他事業所や全 国的な支援内容を参考に、柔軟に取り入れ て欲しい。 ・新しい施設に期待しています。職員の先生 方は大変よく支援して下さいます。	※個々に必要な療育時間が確保できるよう 努力してまいります。

(注釈)

- 1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- 2 「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- 3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- 4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。